

第三節 農業協同組合・農業 共済組合・農業開発組合

一 和泊町農業協同組合二十年のあゆみ

昭和二十九年度

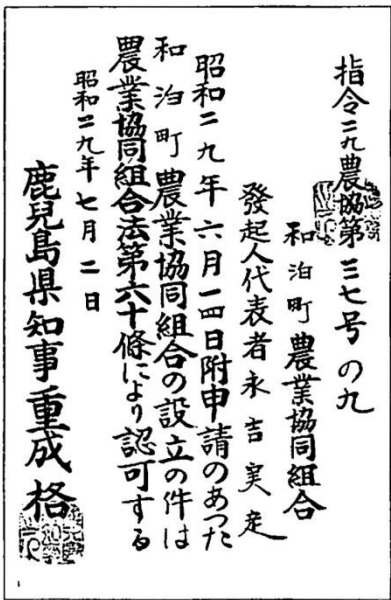
六月十三日、農業協同組合法（昭和二三・一一・一九法律第二三三二号）に基づき和泊町農業協同組合設立總會を開催、定款ほかの審議と役員選挙が行われた。

（理事九名）柳元則・安田前間・新村宮甫・永吉実定・皆古平・大江ふる吉順・柏誠之介・伊集院周国・福島清英

（監事三名）伊集院武一・平新利・竹玉江川

以上を選挙したが、六月十四日付けで福島清英理事就任辞退のため、六月二十一日選挙会をもち山下兼二氏就任

六月二十六日、第一回役員会において組合長互選および代表監事の選任を行い、組合長に伊集院周国氏・代表



監事に平新利氏が選任された。

七月一日、伊集院周国氏健康上の理由で組合長理事を
辞任

七月七日、理事会を開催し互選の結果、山下兼二氏が
選任された。

七月二十一日、組合設立登記完了。

十月二十二日、理事会開催。十月十九日付山下組合長
が老体のため辞任届を提出、これを承認するとともに理
事全員総辞任することになった。

十一月二日、理事総辞任に伴い、定款の規定により、

監事による臨時総会の招集がなされ、役員選挙が行われた。

(理事九名・島義智・柳元則・安田前間・伊地知季良・永山島宜志・大栄奥富・永吉実定・川村安盛・市来哲次郎)

(監事三名) 竹玉江川・伊集院武一・平新利

「理事のうち一名は、町長として残る八名を選挙し、町長が断つたとき次点繰り上げとする」ということで選挙したが、重村中久町長が、兼職を固辞したので次点島義智氏が繰り上げられた。

互選の結果、組合長に島義智氏。参事に平新利氏が選任された。

後任監事は、次期総会まで欠員のままとした。

三十年度

五月二十九日、第一回通常総会開催、役員選挙

(理事七名に変更) 島義智・永山島宜志・伊地知季良・

山内大武・永吉池治・安田前間・竿田吉秀

(監事三名) 市来哲次郎・竹玉江川・伊集院武一

国頭支所落成・永嶺製糖工場落成

三十一年度

国頭製糖工場落成・玉城製糖工場落成

農協婦人部結成総会・こども信用協同組合結成

三十二年度

農業倉庫(政府売渡米保管庫)落成

大島郡第一回家の光大会・村づくり定期抽せん会

三十三年度

和泊町農協再建整備協議会結成式

臨時総会を開催し再建整備計画の承認・定款変更・専務制の採用と役員改選

(理事七名) 島義智・安田前間・重村中久・金元良治・平新利・村山大業・町田実彦

(監事三名) 市来哲次郎・竹玉江川・東一徹

互選の結果、組合長に島義智氏・専務理事に平新利氏が就任

・十一月二日臨時総会において理事定数を九名に変更、国頭校区から今井忠一郎氏・大栄奥富氏の二名を承認

三十四年度

営農指導員二名配置・養豚組合結成

・農協青壮年部結成総会・農協推進員制度導入

・ 県経済連より派遣参事受け入れ

・ (理事九名) 島義智・平新利・町田実彦・金元良治・村山大業・安田前間・重村中久・今井忠一郎・大栄奥富

・ (監事三名) 市来哲次郎・竹玉江川・東一徹

三十五年度

・ 奄美興発K・Kに対し砂糖きび原木の共同出荷体制をすすめる。

・ 青壮年部の先進地研修と園芸作物の生産指導や養豚組合の育成指導と共同出荷体制を図る。

三十六年度

・ 生命共済・こども共済事業の実施
・ 和牛登録検査を農協で実施・派遣参事辞任
・ 第七回通常総会で役員改選

(理事九名) 平新利・町田実彦・市来哲次郎・安田前間・重村中久・村山大業・金元良治・今井忠一郎・大栄奥富

組合長に平新利氏就任

(監事三名) 伊集院重義・竹玉江川・東一徹

三十七年度

・ 南栄糖業株式会社設立、砂糖きび一元集荷
・ 田原誠助県経済連副会長来島、砂糖きび生産者大会開催
・ 建物更正共済事業の実施

三十八年度

七月十日和田参事選任・九月二十七日事務所新築落成式

・ 奄美群島復帰十周年記念農業祭実施
・ 再建整備計画完了・繰り越し欠損を解消し剰余金計上

・ 金元・安田理事の補選で野村義広氏・伊井中直氏選任

三十九年度

・ 農業総合管理施設(肥料倉庫五十坪)新築
・ 六月十日全国共済連より特別表彰を受く。
・ 役員改選

(理事九名) 平新利・町田実彦・市来哲次郎・今井忠一郎・大栄奥富・重村中久・伊井中直・野村義広・中村嘉昌

(監事三名) 柏誠之介・竹玉江川・東一徹

・精米業の廃止
四十年 度

- ・与那原平に家畜市場新築
- ・奄美群島振興事業による堆肥盤・貯水槽設置
- ・住宅公庫資金による農村住宅・改良住宅資金融資
- ・農業近代化資金による畜舎・生産牛の導入を図る

四十一年 度
青果市場として鉄筋コンクリート二階建て五十七坪新築

- ・プロパンガス事業開始
- ・臨時総会を開催、自賠責事業計画の承認
- ・農業構造改善資金等制度資金の積極的活用
- ・竹監事死去に伴う補欠選等で池田内義氏就任

四十二年 度
九月二十一日田中茂穂県連会長来島
東京観光旅行実施、二百五十名参加
玉城・国頭地区構造改善事業の実施で補助残融資
役員改選
(理事九名) 平新利・市来哲次郎・町田実彦・今井忠一郎・大栄奥富・重村中久・伊井中直・中村嘉

取得

四十五年 度

- ・十一月八日沖永良部農業開発組合設立発起人会開催
- ・十一月十二日ミカンコミ、バエ防除打ち合わせ
- ・十二月二十九日農協職員労働組合結成報告書受理
- ・農業者年金説明座談会
- ・役員改選
(理事九名) 平新利・町田実彦・和田季盛・末川恵蔵・今井忠一郎・中原安隆・大山大元・平村島里・中村嘉昌

四十六年 度

- ・干害対策調査団一行来島
- ・全郡農業委員大会町中央公民館にて開催
- ・両町農業共済組合合同推進会議
- ・当房鹿児島県農業経済課長一行来島、広域合併問題について両町・両農協・両農業共済組合関係者会議

四十七年 度

- ・瀬名支所の廃止
- ・台風七号で水害発生

昌・平村島里

(監事三名) 柏誠之介・東一徹・池田内義
和泊町農業共済組合設立総会

四十三年 度

- ・沖永良部畜産センター運営委員会
- ・第二回東京観光旅行実施。和田参事辞任大脇氏就任
- ・大島税務署長より納税貯蓄組合表彰を受く
- ・県肉用牛共進会へ三頭出品

四十四年 度

- ・鹿児島県知事一行来島(四月九日および八月二十七日の二回)
- ・沖永良部空港開港
- ・喜美留地区構造改善事業・客土事業推進
- ・畜産センター種牡牛集中業務開始
- ・田原武雄県経済連・森文雄県共済連副会長来島
- ・農業基本構想研修会・和泊町基本構想説明会
- ・農林中金九州地区理事一行・九州各県共済連会長一行来島研修
- ・和泊町園芸振興会結成準備委員会開催
- ・臨時総会開催、共済規程変更並びに固定資産(客土用)

・稲作転換促進特別事業で集荷場完成

四十八年 度

- ・広域合併について職員研修会(県中央会 長倉・阿久根)
- ・役場庁庭において砂糖きび価格引き上げ陳情総決起大会、組合長政府へ陳情、トン当たり一万円に決定
- ・第四回奄美大島地区農協役職員大会(和泊町)
- ・長浜埋立地の取得、野菜集荷場の建設
- ・臨時総会開催、花き集団産地育成事業の導入
- ・南栄糖業K・Kにて大型脱葉機公開実験
- ・役員改選
(理事九名) 平新利・菅村芳憲・森重勝・末川恵蔵・中屋一吉・中原安隆・大山大元・中村嘉昌・朝戸貞造

(監事三名) 和田季盛・伊井中直・竿田吉秀

四十九年 度

- ・農協畜牛の導入・冷蔵庫施設設置
- ・県中合併事務局川崎部長・西蘭次長来島、研修会
- ・国頭支所落成
- ・十月一日砂糖きび価格大幅引き上げ和泊町総決起大会、砂糖きび価格引き上げ陳情団一行伊延港から出

発

- 十一月二十日価格 トン当たり一万五千元に決定
- 金丸県知事来島 県政を語る会の開催
- 県農協中央会・和泊農協・知名農協による農協合併について協議会開催・合併事務局による職員研修会

五十年

- 青果物低温輸送設備事業（保冷コンテナ）導入
- 家畜セリ市場、近代化設備による新築工事
- 事務所冷房施設設置、大脇参事辞任
- 共済事務整備のため県共済連内田氏来所
- 砂糖きび価格引き上げ大型陳情団知名港より出発
- 十一月一日価格トン当たり一万六千円
- 県中央会福山部長来所、農協合併研究会発足

五十一年度

- 農機センター・格納庫・飼料倉庫・保冷コンテナ・貯金計算機の設置、事務所改築、旧せり市場付属施設の処分、LPG貯蔵施設の処分、宗参事就任
- 県経済連主催 自動車・農機具展示即売会
- 九州理学医学主催・健康教室開催
- 第四次砂糖きび価格引き上げ陳情 一万七千円決定

- 肉用牛研修会、健康教室、野菜重点農協検討会
- 農村青年（4Hクラブ）と農協と語る会
- 大島郡土物類流通対策協議会

臨時総会開催

- 水田転作事業でシヨベルドーザー取得
- 組合員と語る会の開催

- 役員改選（理事九名）平新利・新納定明・速水朝重・末川恵蔵・中屋一吉・中原安隆・大山大元・上原英元・中村嘉昌

（監事三名）和田季盛・東一吉・伊井中直

五十二年

- 町議会経済委員会との協議会 総会報告座談会
- 野菜集出荷場・電算端末機の設置
- 台風九号（沖永良部台風）襲来、大被害発生、災害対策
- 県中央会山口副会長・県共済連神橋部長来所
- 全共連業務建物共済課土田課長外査定の為来島
- 金融対策協議会、農舎・畜舎資金対策
- 第五次砂糖きび価格引き上げ陳情、トン当たり一万八千三百七十円

- 農協法公布三十周年記念・県厚生連創立記念大会

- 農業危機突破・農畜産物輸入阻止 緊急鹿児島県農民代表者大会

- 町議会経済委員会との農業振興検討会

- 電算共同利用の研修会（県中 長田・村上氏）

五十三年度

- 沖縄県南風原農協組合一行百六十三名来島
- 電算システムについて研修会（県中 地蔵原氏）
- 沖縄県佐敷村農協一行四十五名来島
- 町議会経済委員会との協議会
- 役員と区長との合同会
- 県信連平石会長・山口部長・中村主任来所
- 県中央会古河主査を講師に女子職員研修
- 県中央会浜田参事・折口次長・竹下課長出席のもとに南部地域（和・知・与）農業振興対策協議会開催

- 第六次砂糖きび価格引き上げ陳情、トン当たり一万八千七百三十円

- 九州オンラインシステム職員研修会開催
- 臨時総会開催、野菜集出荷場外取得承認
- ファクシミリ設置、経済資金制度、両農協研修

五十四年度

- 流通情報交換会（町会議室にて）
- 大島郡内畜産技術員研修会、和牛登録検査
- 経済資金制度先進地研修

- 日中友好鹿児島県農民の翼で参事中国訪問
- 健康管理委員会設置、健康診断で職員研修会
- 県厚生連による健康診断実施

- 経済資金移行システム、BB肥料展示圃設置
- 肉用牛団地事業（肥育センター）谷山字松袋に設置
- 広報誌掲載後継者との会

- 役場庁庭において地場野菜の年末青空市場
- 徳・沖・与三地区農協非常勤理事研修
- 郡内農協長台湾糖業視察研修に参事同行

- 平組合長全中総会において功労賞受賞
- 砂糖きび価格トン当たり一万九千三百五十円
- 役員改選（理事九名）平新利・松下新茂・速水朝重・末川恵蔵・中屋一吉・玉井浦秀・柳川勇一・中田実・池村清秀

（監事三名）和田季盛・東一吉・橋口俊彦

五十五年

- ・健康管理委員会開催、人間ドックの件
- ・町連合婦人会（農協婦人会）三十周年記念式典
- ・全中の石倉課長畜産状況視察のため来島
- ・奄美群島振興審議会一行来島
- ・組合員と語る会の開催、健康診断事業の実施
- ・平組合長病気のため組合長辞任、速水組合長就任
- ・砂糖きび価格トントン当たり二万八百二十円

五十六年度

- ・農協青年部設立総会、県中の東部長来町
- ・野菜鮮度保持緊急対策事業現地説明会
- ・石川里いも試験成績検討会、リレー出荷説明会
- ・「農業破壊政策阻止・要求米価実現」県農民大会
- ・和泊町経済問題懇話会
- ・台風十八号、降雨なし、塩害発生災害対策会議開催
- ・石川里芋輸送実験結果検討会（県・県農試・経済連）
- ・第一回大島地区肉用牛振興大会（和泊家畜市場）
- ・昭和五十六年度巡回健診
- ・砂糖きび価格二万四千四百十円
- ・県共済連飯屋園会長来島、南部三島農協共済研修会
- ・朝日農業賞関係調査員二十名来町

- ・鹿児島青果市場利用により市長より感謝状受く
- ・組合員と語る会の開催
- ・和・知・与 南三町農協地域農業振興計画策定
- ・昭和五十六年度朝日農業賞受賞式（朝日新聞社）
- ・奄美群島地区植樹祭（郷社高千穂神社）
- ・鹿児島県農民政治連盟総会、畜産危機突破大会
- ・内城地区野菜中継基地竣工

五十七年度

- ・オンライン用停電対策機器据付完了
- ・野菜集出荷場建設、馬鈴薯選別機・土壌分析器・コンテナ等導入
- ・六月十五日貯金業務九州オンライン開通式
- ・奄美群島振興開発総合調査団一行来島
- ・奄美群島野菜振興大会
- ・郡内農協長会
- ・第二回奄美群島和牛振興大会（於知名町）
- ・昭和五十七年度巡回健診
- ・砂糖きび価格二万四千五百十円
- ・農産物輸入自由化阻止全国大会へ東盛蔵氏参加
- ・昭和五十七年度組合員と語る会の開催

- ・沖永良部農業改良普及所昇格
- ・昭和五十八年度ばれいしよ集出荷対策会議
- ・役員改選（理事九名）速水朝重・和田季盛・山下純利・東一吉・末川恵蔵・林道明・玉井浦秀・中田実・池村清秀

（監事三名）橋口俊彦・中屋一吉・橋口豊仁

五十八年度

- ・和・知・与 南部三町農協野菜事業研修会
- ・年金共済「いきがい」研修
- ・原種牛選定調査
- ・昭和五十八年度巡回健康診断事業実施
- ・第三回大島郡肉用牛振興大会（徳之島町）
- ・谷山三重大学助教授・津野鳥取大教授講演会
- ・砂糖きび価格決定、二万四千四百七十円
- ・農業祭記念講演演川村・吉井先生（於町研修センター）
- ・第二十二回和泊町農業祭
- ・許すな自由化組合員緊急集会
- ・家の光協会からの表彰状・記念品伝達（こども家の光感想文）内城小学校
- ・第三十回和泊町婦人体験発表会、第二回婦人大会

- ・干ばつ緊急対策会議
- ・県経済連情報機器端末機設置
- ・野菜中核農家研修会、いんげん目揃めぞろい会
- ・為替オンライン総合テスト
- ・農林省小野食品流通局長一行砂糖きび状況視察、湯之前県経済連農産部長同行

・南栄ストの件で協議会

- ・昭和五十八年度組合員と語る会
- ・和泊町経済浮揚対策会議

- ・農業危機突破鹿児島県農民総決起大会
- ・南栄糖業ストに対する両町機関連記による要望書を事業所長・労組委員長へ發送（継続のため再送す）
- ・生活々動基本計画研修（県中 池田・赤塚・石川氏）
- ・農業者年金受給者設立総会（農委主催町研修センター）

五十九年度

- ・砂糖きび生産者総決起大会（南栄糖業）
- ・農畜産物輸入自由化枠拡大阻止農協代表者集会
- ・大島地区石川里芋生産流通対策会議（ホテルつるや）
- ・南栄糖業砂糖きび感謝祭ならびにきのこ類菌床工場

落成祝賀会

- ・六月十八日現金自動支払機(C・D)使用開始
- ・非常勤理事研修・職員研修会(講師永井部長・折口所長)

- ・健康づくり大会(県厚生連・東京女子医大指導)
- ・全国銀行為替制度加盟記念式典
- ・農協青年部と語る会
- ・税務部門管理者研修のため知名農協で合同研修
- ・松山県共済連・厚生連会長就任あいさつのため来所
- ・Aコープ和泊店設立で各字座談会
- ・第四回肉用牛振興大会を与論町で開催
- ・臨時総会を開催しAコープ店取得の承認を得る
- ・県条例検査で洲崎・松元主事来所検査執行
- ・昭和五十九年度巡回健診、七百六十八名受診
- ・59〜60年期製糖打ち合わせと集中脱葉機置場地鎮祭
- ・第二十二回農業祭記念講演で東京青果川井常務招聘
- ・Aコープ店施設入札会(新生組・九電工落札)
- ・第三十一回婦人体験発表会・第三回婦人大会
- ・吉野大島税務署長・松本統括官・久保税理士臨席の下に和泊町農協農業青色申告会結成、研修を行う

に、農業災害補償法も施行された。

同法は、昭和四年以来実施してきた家畜保険と、昭和十四年以来実施してきた農業保険とを統合したものである。戦後の経済事情の激変に即応し、食糧の確保および農地改革後における農家の自主経営安定を根本的に拡充強化した制度である。

組合は、市町村を区域として、農作物・蚕繭^{さくせん}および家畜共済事業を行い、設立は農業者の自主的設立を原則とするが、「都道府県知事は、必要と認めるときは組合の設立を命ずることができる。」となっている。本町も奄美の他市町村と同じように、復帰後十四年にしてようやくその機運が醸成され、県の指導もあって、昭和四十三年三月二十五日に設立登記をし、同年四月一日より共済事業が実施されるようになった。

1 組合事務所

- 大島郡和泊町和泊五七八番地の一(和泊町農協内)
- 昭和四十五年四月一日大島郡和泊町和泊五〇〇番地の一へ家畜診療所移転。

2 設立時の役員

組合長理事 武田恵喜光

・大型集中脱葉機置場施設完成祝賀式(ホテルつるや)

- ・鹿児島県主催による和・知・与農協役員研修会
- ・県経済連生活部開発指導課古里職員によるAコープ和泊店職員研修会開催

・役員改選(理事九名)速水朝重・和田季盛・山下純利・東一吉・川間元生・玉井浦秀・中原恒美・池村清秀・山下祐孝

(監事三名)橋口俊彦・中屋一吉・橋口豊仁
六十年年度

- ・神戸大丸において沖永良部物産展開催職員派遣
- ・県中央会古河講師による女子職員研修会
- ・Aコープ和泊店開店、落成祝賀式举行
- ・県中央会大原先生来島農協婦人部研修会

二 農業共済組合

(一) 和泊町農業共済組合の設立と推移

戦後の昭和二十二年、農業協同組合法等の施行と同時に

理事 平新利・町田実彦・今井忠一郎・大栄興

富・重村中久・伊井中直・中村嘉昌・平村島里

監事 柏誠之介・東一徹・池田内義

組合長理事を除き、全員農協の理事・監事が兼務した。残る農協理事一名は市来哲次郎氏。

3 実施事業

水稲・蚕繭・家畜・建物の各共済事業

(二) 沖永良部農業共済組合の設立と推移

昭和二十二年、農業災害保償法の施行以来、国はたびたびそれを改正して、国庫補助による農家負担の軽減、組合事業基盤の確立等をはかってきた。

昭和三十年に入り、市町村の合併に伴う事業区域の拡大がすすめられ、昭和四十年代は、水田転換事業が施行されるにつれて、転換作物である果樹・畑作物ならびに園芸施設等の共済に対する要望が広くなされ、これら新規共済の実施を強くせまられるようになった。

そのため、事業運営基盤の拡充と、効率的な運営をはかるには、広域合併を進めるほかないとの国の方針に沿

い、県は、本土においては郡一円の合併を、離島では島内の合併を指導し、昭和四十九年三月、徳之島三町組合が、昭和五十年一月一日に沖永良部島二町組合が合併し、沖永良部農業共済組合が発足した。

○ 合併経過報告書

昭和四十八年二月二十六日、合併趣旨説明会を開催し、研究会・推進協議会設置等を協議した。

昭和四十八年五月二十四日～二十六日

和泊・知名両組合の通常総代会において趣旨説明協議した。

昭和四十八年十一月二十九日～三十日

合併推進協議会設置。定款・規約・予算等の審議。

昭和四十九年二月六日、第二回合併推進協議会。

合併経営計画の検討審議（主として、本所・出張所の設置）推進協議会長および副会長の選任、合併特別委員の選出。

昭和四十九年二月十三日、合併特別委員会。

合併経営計画の検討審議（主として、本所・出張所の設置）

昭和四十九年十月七日、第三回合併推進協議会。

昭和四十九年十月十七日～十八日

第四回合併推進協議会。

本所・出張所の設置について検討審議。

昭和四十九年十一月七日、第五回合併推進協議会。

合併後の機構（本所・出張所の位置等）と合併経営計画の承認。合併予備契約調印。合併設立委員会規程検討、審議。委員・会長・副会長選任。

昭和四十九年十一月二十七日、合併に伴う臨時総代会を両町組合それぞれ開催し、合併の承認・合併予備契約書の承認、合併経営計画決定、設立委員会規程の承認、設立委員の選任。

昭和五十年一月十日、合併設立委員会。

役員を選任、定款および諸規程の審議、事業計画・収支概算書審議決定。

○ 設立委員は、両町組合理事十八名をあてる。

○ 両組合理事ならびに監事は、昭和五十年五月三十一日開催の沖永良部農業共済組合第一回創立総代会まで就任。

○ 本所・出張所は三年ごとに交互移転を申し合わせる。

○ 昭和四十九年度より、さとうきび共済を和泊・徳之島・中種子の三地区で試験実施。本格実施は昭和五十四年度である。

○ 合併時の役員

組合長理事 大平武雄。

副組合長理事 武田恵喜光。

理事 平新利・末川恵蔵・中屋一吉・菅村芳憲・

中原安隆・大山大元・中村嘉昌・朝戸貞造・大平

武勇・奥間上生・長谷川安弘・本部中吉・奥山真

良・春日範男・山本正末・藤崎植吉。

監事 和田季盛・竿田吉秀・伊井中直・有田先

鋭・林茂彰・高風栄智。

昭和五十年五月三十一日、創立総代会において、役員改選がなされ、理事十名、監事四名が選任された。

・組合長理事 大平武雄

副組合長理事 武田恵喜光

理事 平新利・末川恵蔵・中原安隆・中村嘉昌・前成

富康・松元正憲・遠江東徳・山本正末。

監事 和田季盛・竿田吉秀・伊井栄清・池田光雄。

・組合事務所

組合の事務所、大島郡知名町知名三〇二番地の二

従たる事務所 大島郡和泊町和泊五〇〇番地の一

昭和五十三年五月二十六日

組合事務所を和泊町和泊五〇〇番地の一へ移転。

○ 昭和五十六年五月二十五日、第七回通常総代会において、「定款の一部変更について」を議題として次のとおり改めた。

「この組合の事務所は、鹿児島県大島郡和泊町和泊五〇〇番地の一に置き、従たる事務所を、鹿児島県大島郡知名町知名三〇二番地の二に置く」

諸手続きを行い、昭和五十六年七月二十二日指令農経第一〇一の二二号で定款変更認可を得た。

これにより従前の申し合わせ事項は事後ないものとなる。

昭和五十六年八月十九日、組合の事務所および従たる事務所の移転を完了した。

○ 昭和六十年六月現在の役員

組合長理事 林安盛

副組合長理事 武田恵喜光

理事 速水朝重・末川恵蔵・中原安隆・大平武勇・松元

正憲・秋山西文・園田通憲・田原富治雄。

監事 和田季盛・竿田吉秀・伊井栄清・神川窪栄。

○ 現在の実施事業

水稻・蚕繭・家畜・さとうきび・建物等の各共済事業を実施しているが、近時園芸施設が増加し、その共済実施の要望も高まっている。

農業者の意向を確かめ、近々実施する予定である。

三 農業開発組合

(一) 昭和四十五年十一月八日設立発起人会開催

沖永良部島の農業経営の規模拡大と近代化の促進に寄与する目的で二十名の発起人が出席し、知名町役場会議室において、設立発起人会を開催し次のことをきめた。

※設立発起人氏名

和泊町長武田恵喜光。知名町長大平武雄。和泊町議会議長竿田吉秀。知名町議会議長栄池光。和泊町農業協同組合長平新利。知名町農業協同組合長松村秀熊。和

泊町経済課長喜井利一。和泊町耕地課長前田義村。知名町経済課長島弘文。知名町耕地課長前田博文。和泊町農業協同組合参事大脇達夫。知名町農業協同組合参事要淳一郎。和泊町商工会長山田二十茂。知名町商工会長日吉得蔵。永良部百合生産出荷組合副組合長伊地知季良。永良部百合生産出荷組合副組合長森山繁。沖永良部さとうきび生産対策本部部長根元金英。沖永良部さとうきび生産対策本部客土部長東郷豊。南栄糖業(株)沖永良部事業所長大貫明幹。南栄糖業(株)沖永良部事業所農務部長富永治。以上二十名。

1 和泊町・知名町・和泊町農業協同組合・知名町農業協同組合・和泊町商工会・知名町商工会・永良部百合生産出荷組合・南栄糖業株式会社が、基本財産を寄附し、財団法人を設立する。

2 その目的を達成するために次の事業を行う。

- (1) 農地の造成および土地改良事業の施行受託。
- (2) 農業用機械器具の運営・管理。
- (3) 農作業の受委託。
- (4) 機械化実験農場の設置・運営。

(5) 前各号のほか、目的を達成するために必要な業務。事務所を和泊町皆川八九一番地に置く。

4 役員理事十八人、監事二人。

理事の中から理事長一人副理事長一人を互選する。

(二) 事業の経過

昭和四十五年十二月二十八日、民法第三十四条に基づき財団法人の設立許可申請。

昭和四十六年一月二十七日、指令農政第一三七二号、

鹿児島県知事の設立許可を受く。

※設立許可指令書

指令農政第一三七二号

住所 鹿児島県大島郡和泊町皆川八九一番地

氏名 財団法人沖永良部農業開発組合

設立発起人代表 根 元 金 英

昭和四十五年十二月二十八日付で申請のあった財団法人沖永良部農業開発組合の設立は、民法第三十四条の規定により許可します。

昭和四十六年一月二十七日

鹿児島県知事 金丸三郎

昭和四十六年二月五日、法人登記。県営畑地帯総合土地改良事業・客土事業の受託施行。

昭和四十八年十一月、事務所を和泊町和泊十番地に移転する。

昭和四十九年十二月、さとうきび集中脱葉装置設置、脱葉事業受託。

昭和五十年二月六日、寄附行為の一部改廃により、役員を理事九人・監事二人に改める。

昭和五十一年二月、地力培養施設々置。堆肥の生産ならびに供給開始。

昭和五十二年三月、農用地整備(障害物除去事業)施行受託。

昭和五十四年四月五日、沖永良部農業機械銀行設立。

昭和五十四年七月、農地浸食防止事業(サンゴ礁排除事業)施行受託。

昭和五十五年四月、パワーシヨベルによる農地の深耕(天地返し)実施。

昭和五十五年十一月、客土事業終了。和泊町八四六ヘクタール、知名町五〇〇ヘクタール。

昭和五十八年二月二十五日、寄附行為の一部改廃によ

り、役員を理事十一人以内、監事二人に改める。

昭和五十八年三月、地力培養施設増設。

昭和五十八年八月、耕土改良事業による心土破碎（深耕）施工受託。

昭和五十九年三月、育苗センター設置、さとうきびとモクマオのポット苗を育てて供給した。

昭和五十九年七月、農地保全整備事業（団体営サンゴ礁排除事業）施工受託。

昭和六十年一月、さとうきび集中脱葉施設の老朽化により撤去。大型脱葉機新設。（屋内）

※昭和六十年六月一日現在役員氏名

理事 和泊町長武田恵喜光。知名町長日吉得蔵。和泊

町議会議長長泉貞吉。知名町議会議長松元正憲。

和泊町農業協同組合長速水朝重。知名町農業協

同組合長要淳一郎。沖永良部さとうきび生産対

策本部長根元金英。南栄糖業(株)沖永良部事業所

長富永治。学識経験者東郷豊・川畑進。

監事 和泊町商工会長関美統。知名町商工会長安田佳成。